

2021年8月24日

東京学芸大学 文部科学省委託「高等学校における日本語指導体制整備事業」2021

企画開発会議調査部会 第2回ヒアリング資料

岩手県立花巻南高等学校

日本語指導の取り組みと成果・課題について

岩手県立花巻南高等学校

①生徒の実態・日本語能力、学力

・生徒について

令和3年3月22日転編入試験を行い4月に編入、普通科国際科学学系2学年在籍。

父の仕事の都合で来日。

・日本語能力、学力

転編入試験では日本語、数学、英語、英語での面接を行った。英語が堪能で、コミュニケーションは英語でとっている。日本語は日本語能力試験（N5）の問題例を使い検査した。N5の例題の1/3の正解率であった。

・生活・学習上の困難（心理面、家庭環境、地域との関わり等を含む）

・宗教上の習慣への対応（ラマダン、礼拝、水泳の授業）に気を付ける

・家庭環境（出張が多い父、兄2人と同居。母妹は在インドネシア）

・花巻市国際交流協会に支援をお願いしている。協会に在籍しているJICAインドネシア派遣経験者が生活面でのサポートを行っており、困ったときには連絡している。

・父親は日本留学の経験があり日本語が分かるが、込み入った話は難しい。

・進路（キャリア認識、就業に対する意識）

日本での大学進学を希望している

②日本語指導・教科学習支援

・教育課程上の位置付け、校内の受け入れ体制

・日々の授業では教科担当の工夫（保健：必要語句の英語訳を渡す）、近い席の生徒の助けで出席している。教科書を本人負担で購入。

・実技教科は授業に参加し、期末試験では実技試験を行い評価する。

・日本語ができるようになったら、試験の工夫（ふりがな、英語訳等）をした上で考査受験、評価をしていきたい。

・学習支援員はいない。

・指導・支援内容

・時間および期間：火曜日 13:35～15:25（2コマ）、木曜日 13:25～15:25（1コマ）

4月から夏休み前まで26コマ

・使用テキスト：①まるごと日本のことばと文化 入門A1りかい

②まるごと日本のことばと文化 入門A1かつどう

・指導者：市内の日本語ボランティア（8月から中国へ日本語教師として派遣）

③進路支援進学指導・就職支援・キャリア教育

今後取り組まなければならない。

④多文化共生に関わり教育や、心的サポート・生活相談

今後取り組まなければならない。

⑤地域の団体・大学・企業等との連携による取り組み

岩手大学松岡教授を訪問し、日本語指導について相談。その際、日本語ボランティアの方を紹介していただいた。今後の指導について、引き続き相談している。